

全国建築板金競技大会 第2回グランドチャンピオン大会

課題 及び 審査基準（抜粋）

<技能競技の部>

2027年2月21日（日）

静岡県富士宮市「富士教育訓練センター」

一般社団法人日本建築板金協会
全日本板金工業組合連合会

全国建築板金競技大会
第2回グランドチャンピオン大会
技能競技の部 課題
『花瓶』

2026 年 4 月 1 日出題

◇銅板を使用し作製しなさい。

1. 競技時間

終了時間

3 時間 00 分

2. 使用する材料

品名	数量	寸法・規格
銅板	1枚程度	0.4×365×1,212 mmの定尺板 1/4H メーカー…三菱マテリアル㈱

※今回、銅板・付属品は支給ではなく持ち込みとします。

3. 仕様

- 銅板は各自でご用意ください。
- 銅板をあらかじめ板裁ちした状態で用意していただいて構いません。
- 展開図を材料に写す場合、それを切り抜いて、ゲージ代わりに使用しても、ポンチ、けがき針などを使用してもかまいません。
- 参考書などを競技会場へ持ち込むことは出来ません。
- けがき線が作品の表面に出ないように注意してください。
- 作品へのヤスリがけ、ワックスがけを禁止します。
- 競技時間内の水場での水漏れ検査は可能とします。

4. 選手が持参するもの

品 名	備 考
展開図	● <u>展開図及び姿図を提出していただきます。</u> ● <u>紙質やサイズ、形状の指定はありません。</u> ● <u>枚数の指定もございません。</u> ● CAD 図を印刷したものでも手書きでも可。 ● 今回はオリジナルの作品のため姿図も作成していただきます。なお姿図には必ず以下の寸法を記載すること ・ 作品の最大高さ ・ 作品の最大巾
製図用具一式	● 必要な選手は競技会場への持ち込み可。
道具	● <u>手道具に指定はございません。</u> ● <u>道具検査は行いません。</u> ● <u>電動工具は穴あけ等のドリルは認めます。</u>
う ち わ	● 炭おこしの用途に限り使用可。 ● 電池等の動力で使用する物は持ち込み不可。
時 計	● 置き時計・腕時計の持ち込みは可。<u>スマートウォッチは不可</u> 会場内の時計が見えにくいので持参することを推奨します。
電 卓 類	● 使用できます。
パソコン類 携帯電話	● <u>一切使用できません。</u>（スマホ、タブレットなどを含む） <u>携帯電話は競技中、道具箱の中など見えないようにお願いします。</u>
養生フィルム テープ類等	● 図面貼り付け用、道具養生、製品養生・仮止めに使用可能。
カッターナイフ	● 図面、養生材切り抜き用、溶剤棒研削用
服 装	● 作業に適した服装・履物を準備してください。 ● 持参の作業帽子着用可能。
座布団・保護類 汗拭き用タオル	● 座布団持ち込み可能。 ● 保護類（膝当て等）持ち込み可能。 ● 汗拭き用タオル持参可 <u>（作品への使用不可）</u>
ライト	● 卓上ライト等（手元を明るくするもの。ほかの選手の妨げにならないもの。）

5. 会 場 で 準 備 ・ 配 布 す る も の

品 名	数 量	寸 法 又 は 規 格
ハンダ	1 本	スズ 60% 必要に応じ追加可能。 太洋電気産業株式会社 棒はんだ (SD-16A)
アーク液	1 カップ	(販売元) 山内金属株式会社 (製品名) アーク液 フラックスと銅ごて洗い兼用 (必要に応じて交換可能) 湯飲み茶碗に入れて配布。 濃度は、アーク液 2 : 水 1 の割合
溶剤棒	2 本	一般的な割り箸を先端研削処理済み。
ウエス	3 枚	持参の物は汗拭きのみ使用可。一般的なウエスを配布する。
七 輪	1 個	カンテキ (金属製)
木 炭	適量	適宜、係員が配ります (必要に応じ追加可能)。 銘柄 岩手切炭 なら堅 1 級
合 板 (910×1820)	3 枚	作業スペース床敷き用 (事前に敷設済み) 2730 mm×1820 mm
水漏れ検査場	4 箇所程度	ただし、競技時間内の使用に限る。
新聞紙	必要に応じて適量、持参の物は使用不可。	

6. 審 査 基 準

- ・ 5 ページからの「審査基準（抜粋）」をご覧ください。

7. 道 具 の 送 付 に つ い て

道具類を事前に送付する際は諸事項を明記し、開会式前日に届くようにして下さい。

（現地便数の都合で、当日着指定は間に合わない場合があります）

〒418-0101 静岡県富士宮市根原 492-8 「富士教育訓練センター」

TEL : 0544-52-0968 FAX : 0544-52-1336

「富士教育訓練センター気付 日板協 ○○・○○○○（組合・氏名）」

グラチャン用 道具類 と必ず明記してください。

※大会当日に届いた道具類については選手自身で事務所から体育館へ運搬していただきます。

注意富士教育訓練センターから自宅への宅急便はヤマト運輸の着払いのみとなります。
返送に係る制限があります。

（3 辺の長さの合計が 200 cm以内/一辺の長さが 170 cm以内/重量は 30 kg以内）

※大会終了後に荷物を発送される方へ

北海道、九州、離島へ荷物を発送される方は全て陸送（船便）となります。沖縄や離島などは状況によって1週間以上かかることがあります。すぐ必要になる荷物がある場合はご自身で持ち帰るか、駅やコンビニ、ヤマト運輸営業所、郵便局から発送をお願いします。

8. 課 題 に 対 す る 質 問

- ・ 課題に対する質問等がありましたら、日板協事務局まで書面にてお申し出下さい。

FAX : 0 3 - 3 4 5 6 - 2 7 8 1 E-mail : k.kuroki@zenban.jp

※1. 質問は出来る限り具体的に記述してください。

2. 質問内容の確認を行う場合がありますので、連絡先を明記してください。

- ・ 質問の受付けは 2026 年 11 月 30 日（月）17 時到着分までとします。
- ・ 質問受付期日を過ぎた質問に対しては、いかなる場合でも回答は出来ませんのでご注意ください。また、大会当日の質問又は異議申し立ては一切認めません。

以上

第2回グランドチャンピオン大会 【技能競技の部】審査基準（抜粋）

採点方法及び失格事項

(1) 採点の方法

採点の方法は得点法を用いることとし、審査員一人につき、「技術力」「美観」「表現力」「独創性」「実用性」計100点とし、審査員全員の合計得点の高得点者を上位者とする。

また、同点の場合、技術力が上回るものを上位とする。それでもなお同点の場合美観、表現力、独創性、実用性の順で点数の上回るものを上位とする。

(2) 失格事項

次の項目に該当した者は失格とする。

- 1) 競技時間終了時に製品が未完成のもの。（はんだが点付けのものも未完成とする）
- 2) 水漏れした場合。
- 3) 競技中、不注意等により他人にケガをさせた場合。
- 4) 競技の途中で不正行為により退場を命じられた場合。
- 5) 使用を禁止されている治具、工具、型板等の使用が判明した場合。

(3) その他

採点については審査基準によることを原則とするが、採点項目以外の事項で不適切と認められる事項があった場合には、採点用紙に当該事項を明記しておき、競技終了後審査委員が合議して減点するか否かを決定する。

減点する場合は、審査基準に示す採点項目との均衡を考慮して、減点数を決定するものとする。

■ 課題テーマ

「花瓶」

本大会における製作課題は「花瓶」とします。

作品のサイズ・形状・意匠は自由とし、出場者の技術力・造形力・創造力を存分に発揮できる内容といたします。伝統に裏打ちされた技と、自由な発想を融合させた作品を提出してください。

■ 使用材料

◆ 主材料

銅板 0.4mm × 365mm × 1,212mm の定尺板 (1/4H)

メーカー：三菱マテリアル株式会社

※時間の都合上、あらかじめ板裁ちした状態で構いません。

◆ 付随材料（補助使用可）

銅線

リベット

太鼓鋌（たいこびょう）

その他作品に必要とするものなど

※補助材料の使用は可としますが、作品構成の主軸は主材料の定尺板を用いた加工としてください。

■ 評価基準

今回はオリジナル作品による競技であるため、統一課題のように事前に詳細な計測箇所を指定することができません。

そのため、選手は 作品の姿図および展開図を提出するものとします。

なお、姿図には 作品の最大高さおよび最大巾を明記してください。

審査においては、提出された姿図を基準とし、

作品の最大高さおよび最大巾の2点を実測して寸法精度を確認し、これを 技術点の評価対象とします。

なお、提出された 姿図および展開図そのものは採点対象とはしません。

したがって、図面の表現方法や描き方、記載形式については 各自の判断により自由に作成するものとします。

審査は以下の 5 項目を中心に総合的に評価いたします。

項目	配点	内容
技術力	40	加工精度、多様な施工方法、伝統技術の応用力
美観	25	作品としての完成度、仕上がりの美しさ、バランス
表現力	15	花瓶というテーマに対する造形・意匠の表現力
独創性	10	オリジナリティ、アイデアの新規性
実用性	10	花と水を入れた実際の使用評価（500ml の水が入ること）

※審査は複数名の審査員による採点方式とします。